



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 エスケー化研株式会社
 コード番号 4628 URL <https://www.sk-kaken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-621-7720

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	74,886	3.6	9,133	0.9	9,245	7.9	6,451	8.0
2019年3月期第3四半期	72,267	3.7	9,050	1.1	10,037	3.7	7,013	5.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,812百万円 (11.9%) 2019年3月期第3四半期 6,598百万円 (0.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	2,392.49	
2019年3月期第3四半期	2,600.95	

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	135,871	114,810	84.5
2019年3月期	132,817	109,945	82.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 114,810百万円 2019年3月期 109,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		350.00	
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				350.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した1株当たり年間配当額は、2019年3月期は350円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	5.2	11,900	3.9	12,200	4.7	8,540	9.7	3,167.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	3,134,777 株	2019年3月期	3,134,777 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	438,447 株	2019年3月期	438,371 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,696,364 株	2019年3月期3Q	2,696,415 株

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続く中、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。消費税率引き上げに伴う個人消費への影響や米中両国の貿易摩擦による世界経済への影響、中国をはじめとするアジア新興国経済の鈍化の与える影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発やインバウンドによる宿泊施設等の需要が進行しております。しかし一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績といたしましては、売上高は、748億86百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。利益面におきましては、経費削減等を行い、営業利益は、91億33百万円（同0.9%増）、経常利益は、為替変動の影響等により92億45百万円（同7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、64億51百万円（同8.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行ったことにより、売上高は672億89百万円

（同2.6%増）と前四半期連結累計期間に比べて17億2百万円の増収となりました。セグメント利益は99億53百万円（同1.2%減）と前四半期連結累計期間に比べて1億18百万円の減益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏、都市部の再開発事業における受注が拡大しており、売上高は61億75百万円（同18.0%増）と前四半期連結累計期間に比べて9億43百万円の増収となりました。セグメント利益は6億85百万円（同24.0%増）と前四半期連結累計期間に比べて1億32百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は14億21百万円（同1.9%減）と前四半期連結累計期間に比べて27百万円の減収となりました。セグメント利益は1億42百万円（同60.5%増）と前四半期連結累計期間に比べて53百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて30億53百万円増加し、1,358億71百万円（前連結会計年度末比2.3%増）となりました。

増加した主なものは、現金及び預金39億46百万円（同4.5%増）、減少した主なものは、受取手形及び売掛金5億57百万円（同2.7%減）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて18億11百万円減少し、210億60百万円（同7.9%減）となりました。

増加した主なものは、支払手形及び買掛金5億17百万円（同8.7%増）、減少した主なものは、未払法人税等13億99百万円（同65.1%減）、未払金9億8百万円（同15.1%減）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて48億65百万円増加し、1,148億10百万円（同4.4%増）となりました。

増加した主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益を含む利益剰余金55億7百万円（同4.9%増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、2019年5月13日に公表しました2020年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,971	90,917
受取手形及び売掛金	20,766	20,208
商品及び製品	1,971	1,859
仕掛品	1,000	1,016
未成工事支出金	318	491
原材料及び貯蔵品	4,086	4,205
その他	558	605
貸倒引当金	△73	△71
流動資産合計	115,599	119,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,803	3,617
機械装置及び運搬具(純額)	287	244
土地	8,089	8,251
建設仮勘定	35	34
その他(純額)	66	65
有形固定資産合計	12,282	12,214
無形固定資産	857	815
投資その他の資産		
投資有価証券	12	12
繰延税金資産	810	532
退職給付に係る資産	743	883
その他	2,654	2,337
貸倒引当金	△142	△157
投資その他の資産合計	4,078	3,608
固定資産合計	17,218	16,638
資産合計	132,817	135,871

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,940	6,457
短期借入金	3,064	3,093
未払金	6,018	5,109
未払法人税等	2,151	751
賞与引当金	1,500	1,093
役員賞与引当金	81	60
製品保証引当金	54	57
その他	1,378	1,652
流動負債合計	20,188	18,275
固定負債		
預り保証金	1,313	1,398
繰延税金負債	63	54
役員退職慰労引当金	1,157	1,175
退職給付に係る負債	142	150
その他	6	5
固定負債合計	2,683	2,784
負債合計	22,872	21,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	113,282	118,789
自己株式	△9,513	△9,517
株主資本合計	109,567	115,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	397	△254
退職給付に係る調整累計額	△20	△7
その他の包括利益累計額合計	377	△260
純資産合計	109,945	114,810
負債純資産合計	132,817	135,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	72,267	74,886
売上原価	50,303	52,547
売上総利益	21,964	22,338
販売費及び一般管理費	12,914	13,205
営業利益	9,050	9,133
営業外収益		
受取利息	288	390
受取配当金	0	0
仕入割引	54	54
為替差益	567	-
雑収入	103	70
営業外収益合計	1,014	515
営業外費用		
支払利息	7	6
売上割引	1	1
為替差損	-	390
固定資産除売却損	17	1
雑損失	1	3
営業外費用合計	28	403
経常利益	10,037	9,245
税金等調整前四半期純利益	10,037	9,245
法人税、住民税及び事業税	2,799	2,527
法人税等調整額	224	266
法人税等合計	3,023	2,794
四半期純利益	7,013	6,451
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,013	6,451

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,013	6,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
為替換算調整勘定	△424	△651
退職給付に係る調整額	10	13
その他の包括利益合計	△414	△638
四半期包括利益	6,598	5,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,598	5,812
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,586	5,232	70,818	1,448	72,267	—	72,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	2	△2	—
計	65,587	5,232	70,819	1,450	72,269	△2	72,267
セグメント利益	10,072	553	10,625	89	10,714	△1,664	9,050

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△16億65百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	67,289	6,175	73,464	1,421	74,886	—	74,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	1	2	△2	—
計	67,290	6,175	73,465	1,422	74,888	△2	74,886
セグメント利益	9,953	685	10,639	142	10,782	△1,649	9,133

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△16億50百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。